



雑録

東京都大田区の大摩川で採集されたエサキナガレカタビロアメンボ

Pseudovelgia esakii Miyamoto, 1959 (Hemiptera: Veliidae) collected from the Tama River in Ota Ward, Tokyo Metropolitan, eastern Japan

山川宇宙^{1*}・内田大貴²

Uchu Yamakawa^{1*} & Daiki Uchida²

キーワード：水生昆虫，大河川，消波ブロック，感潮域，止水域

Keywords: aquatic insect, large river, tetrapod, tidal reach, water stagnation

はじめに

エサキナガレカタビロアメンボ *Pseudovelgia esakii* Miyamoto, 1959 は、カメムシ目カタビロアメンボ科の水生昆虫である（中島ほか，2020）。本種は、本州の大河川や湖の岸際に生息し（林ほか，2023；内田・岩田，2024），東京都では板橋区の荒川から記録されている（山川ほか，2023）。

第1著者は2024年に東京都を流れる大摩川において、本種を採集した。これは本種の都内2例目の記録であり、大摩川水系では初確認となるため、ここに報告する。

材料と方法

採集調査は、2024年7月14日に東京都大田区の大摩川において、第1著者が徒手により行った。得られた個体は70%エタノール水溶液で固定した後、乾燥標本にした。標本は第2著者が保管している。

結果と考察

エサキナガレカタビロアメンボ

Pseudovelgia esakii Miyamoto, 1959

標本：1♂，大摩川（東京都大田区鶴の木），14.VII. 2024，山川宇宙採集，内田大貴保管（図1A）；2♂3♀（内1♂1♀長翅型），他の採集情報は同上。

上記の標本は、背面が暗褐色もしくは黒色であり、体と同色の毛で覆われていること、触角第1節は第4節とほぼ同長で、第1節の突出部はその3分の2より著しく長いこと、複眼に毛が密生していないこと、中脚および後脚は太く、跗節は脛節とほぼ同幅であること、雄の後脚跗節各節の長さが異なること、雄の中脚脛節の先端部に剛毛束がないこと、後脚跗節の第1節は第2節より長く、第1節の下面には3–4本の遊泳毛を有すること（図1B, C）などの形態

¹ 筑波大学大学院生命環境科学研究科生物科学専攻
〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

Biological Sciences, Graduate School of Life and
Environmental Sciences, University of Tsukuba
1-1-1 Tennodai, Tsukuba, Ibaraki 305-8572, Japan

² 株式会社環境指標生物

〒162-0832 東京都新宿区岩戸町18 日交神楽坂ビル
Bioindicator co., Ltd.

Nikko-Kagurazaka Building, 18 Iwato-Cho,
Shinjuku, Tokyo 162-0832, Japan

*Email: uchukawaanago@gmail.com

(2024年7月26日受付，2024年8月8日受理)

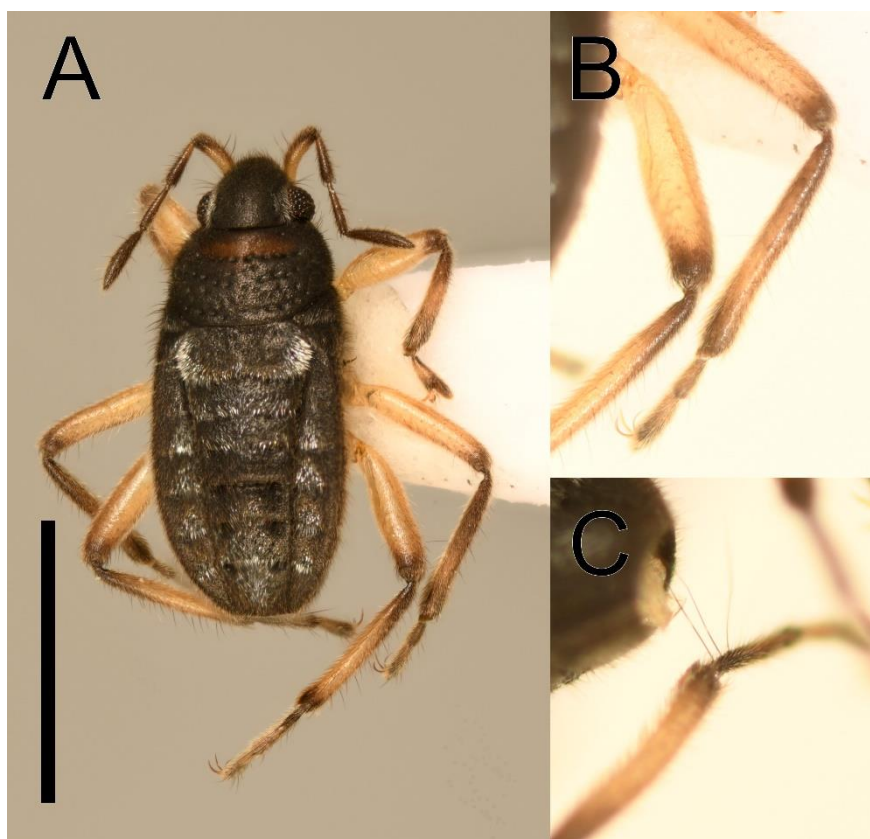


図 1. エサキナガレカタビロアメンボ, ♂, 多摩川 (東京都大田区鶴の木). A: 背面; B: 中脚脛節; C: 後脚跗節遊泳毛. スケールバーは 1 mm を示す. 内田大貴撮影.

学的特徴が, 林・宮本 (2018) および Watanabe & Hayashi (2023)におけるエサキナガレカタビロアメンボの外見的特徴と一致したため, 本種に同定された.

本報告の確認個体は東海道新幹線鉄橋の約 570 m 下流左岸に設置された消波ブロック間の止水域を遊泳し, 時折, ブロック上を歩行していた. 同地点は潮汐により水位の変動がある感潮域であるが, 底層の塩分は約 0‰であった. 川岸は土で形成され, 底質は泥であった.

上述の通り, 本種は, 東京都では板橋区の荒川から記録されており (山川ほか, 2023), 本報告は本種の都内 2 例目の記録となる.

採集地点では, 他にも本種と思われるカタビロアメンボ類が 300 個体程遊泳していた. また, 同日に対岸の神奈川県川崎市においても, 種の同定はできなかったが, ナガレカタビロアメンボ属の一種

Pseudovelgia sp.の幼虫を 3 個体確認している (山川・内田, 未発表). 以上のことから, 少なくとも多摩川の感潮域においては, 本種の生息地が複数存在し, ある程度大きな個体群が維持されている可能性がある. 今後も同河川の両岸において採集調査を実施し, 本種の生息状況を明らかにしていきたい.

引用文献

- 林 成多・相馬理央・渡部晃平 (2023) : 本州産ナガレカタビロアメンボ属の DNA バーコード領域. ホシザキグリーン財団研究報告特別号, 32 : 1–7.
- 林 正美・宮本正一 (2018) : 半翅目 Hemiptera. 川合 禎次・谷田一三 (編) 「日本産水生昆虫 科・属・種への検索 第二版」. 東海大学出版会, 秦野. pp. 329–427.
- 中島 淳・林 成多・石田和男・北野 忠・吉富博之 (2020) : ネイチャーガイド日本の水生昆虫. 文一

総合出版, 東京.

内田大貴・岩田泰幸 (2024) : エサキナガレカタビロ
アメンボ *Pseudovelgia esakii* Miyamoto, 1959 (カタ
ビロアメンボ科 Veliidae) の新潟県初記録と生息環
境に関する知見. 伊豆沼・内沼研究報告, 18: 63–70.
Watanabe K. & Hayashi M. (2023): A new species of

Pseudovelgia Hoberlandt, 1950 (Hemiptera:
Heteroptera: Veliidae) from Honshu, Japan.
Zootaxa, 5239: 551–562.

山川宇宙・碧木健人・内田大貴 (2023) : 東京都にお
けるエサキナガレカタビロアメンボの初記録. 月刊
むし, 633 : 44–45.